執筆の手引き

［1］本誌の取り扱い原稿（表 1）

欄		内容	字数（図表は相当する字数を減らす）	組みあがり頁数	掲載料
A	特集	序文および 3〜5 篇の総説で構成	序文：1600 字程度，各総説：要約＋本文＋文献＋図表＝1 万字程度	序文：1 頁 総説：7 頁	左を超えた頁は有料
	総説	薬理学および関連領域の最近の進歩を中心に解説を加えたもの	同上＝1 万字程度	7 頁	同上
	実験・実習技術	新しい実験方法，実験装置，学生実習の方法などについて解説的に紹介したもの	同上＝1 万字程度	7 頁	同上
	治療薬・創薬シリーズ	治療薬，創薬を疾患別に紹介したもの	同上＝1 万字程度	7 頁	同上
	新薬紹介総説	承認された新薬を薬理学データと臨床データを基礎に紹介したもの	本文 14 枚＋図表 8 枚程度	12 頁程度	全頁有料
B	キーワード解説	キーワード 2〜3 件，英語の表題と著者名；本文＋文献＋図表＝3,900 字程度		3 頁	左を超えた頁は有料
	最近の話題	キーワード 2〜3 件，英語の表題と著者名；本文＋文献＝1,900 字程度		1 頁	同上
C	a：学会／海外便り，b：書評	a：1500 字＋写真，b：1800 字；著者名の英語		1 頁	同上
	コレスポンデンス	2100 字，キーワード 2〜3 件，著者名の英語		1 頁	同上
	研究室訪問	550 字＋写真		半頁	無料
	新教授紹介（会員のみ）	氏名，読み，就任年月日，所属名称，住所，TEL，FAX，E-mail．改行して本文		1/4 頁	無料
D	アゴラ	3,000 字程度		2 頁	—
	リレーエッセイ	1,900 字程度＋写真		1 頁	—

本誌では表 1 の A から D の内容について基本的に広報委員会から原稿を依頼している．A から C については，会員からの投稿も歓迎する．表 1 に記載のジャンル以外の特別寄稿も含め，投稿の際には執筆前に広報委員会へ相談すること．なお，原著論文は取り扱わない．

［2］刊行形態

本誌は国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する J-STAGE（https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fpj/-char/ja/）にて発行する．

［3］投稿資格

依頼原稿を除き，投稿原稿の筆頭著者は日本薬理学会員でなければならない．原稿は未発表のものに限る．論文掲載の採否は査読および校閲により決定する．

［4］倫理的配慮

原稿は，人を対象とする場合にはヘルシンキ宣言を遵守し，動物実験は「動物実験に関する日本薬理学会指針」に基づいて倫理的に行われたものでなければならない．（129 巻 1 号 10-11 頁参照）

［5］執筆要項

1 各欄の内容，組みあがり頁数などについては表 1 を参照．

2 原稿は定められたテンプレートファイルを使用して作成する．

3 図表は必要最小限の点数とし，本文中で使用する図はできるだけ原稿内容を代表するような模式図を作成する．なお，新薬紹介総説はこの限りではない．

4 原稿中にすでに公表された図表・文章を再利用するときは，図表の説明文中に出典元を明記する．また，転載許諾が必要な図表等を使用する際には，必ず著者の責任で転載元の出版社等から許諾を取る．

5 読者をなるべく惹きつけるような短いタイトルを作成する（必要により副題を付ける）．

6 学術用語は日本薬理学会薬理学用語集ならびに日本医学会医学用語辞典に従う．ただし，両者の表現が異なる場合は日本薬理学会薬理学用語集を原則として優先する．http://www.pharmacol.or.jp/glossary/ex-glossary-a.htm および http://jams.med.or.jp/を参照．

7 薬物名および化学名は一般名を用い，なるべくカタカナで記載する（新薬紹介総説を除く）．外国人名，および一般化されていない化学薬品名，物質名は原語を用いてよい．その他は原則として日本語を用いる．

8 略字は，μg, mg, g, kg, μm, mm, cm, s, min, h, μM, mM, ℃, %，などを用い，各略語の後にピリオドはつけない．本文中の時間の単位は ms を除き原則として日本語とする．

9 生薬成分を扱う論文（122 巻 1 号 1A 参照）：植物は種の学名をラテン語（イタリック体，命名者名は立体）で記載し，植物が属する属または科名を括弧書きする．

10 図表は本文とは別にし，それらの挿入位置を本文中に示す．図表とその説明は，文献から引用の場合も

含め，日本語で簡潔に書く．顕微鏡写真の倍率を示すスケールバーは写真の中に入れる．

11 文献：本文中での引用順に 1)，2)，3)，…とし，次の順序に書く．

雑誌：筆頭著者名．雑誌名．年; 巻: 開始頁–終了頁.

(例) Inden M, et al. J Pharmacol Sci. 2005;97:203-211.

本：筆頭著者名，書名，発行所，年，巻，開始頁–終了頁.

(例) Phillips SJ, et al. Hypertension: pathophysiology, diagnosis, and management. Raven Press; 1995. p. 465-478.

［6］補足図表

1 新薬紹介総説を除き，本文で使用する図の他に補足図表を付けることができる．データを示すグラフや写真などは本文には入れず，補足図表とすることが望ましい．補足図表の数は 5 点までを目安とする．補足図表は Web 公開時に本文 PDF の末尾に付けられ，その掲載頁数は表 1 に記載の規定組みあがり頁数には数えない．

2 補足図表内のみで引用される文献は，本文中の文献欄には挙げることができない．文献番号を参照して引用を行う必要がある場合は，補足図表内に別途文献欄を設け，本文中の文献欄の番号の続きから始める．

［7］利益相反（COI）について

「日本薬理学会利益相反 (COI) に関する指針」に基づき，表 1 の A，B 欄の原稿送付時には「日本薬理学雑誌：自己申告による COI 報告書」を提出すること．また，本文の末尾に利益相反の有無を記載すること．日本薬理学会利益相反（COI）に関する指針および申告書は日本薬理学会ホームページ (http://www.pharmacol.or.jp/) からダウンロードすることができる．

［8］掲載料（消費税抜き本体価格）

表 1 に記載の各欄規定組みあがり頁数以内は無料．これを超過した場合は掲載料として 12,000 円/頁．ただし，新薬紹介総説は全頁有料（36,000 円/頁）．別刷代金は別途．

［9］希望校閲者／査読者

希望する 4 名の校閲者／査読者を明記する．回避したい校閲者／査読者はその理由を添えて知らせることができる．但し，広報委員会はこの希望に拘束されない．なお，提供された情報は公開しない．

［10］原稿の送り方

1 原稿はすべて電子ファイルとし，E-mail 添付で送る．

2 本文および表の作成は Word，図は pdf，PowerPoint など汎用ソフトを使用する．

3 図を pdf にする場合は，文字化けを防ぐために「すべてのフォントを埋め込む」を選ぶ．

4 図はできるだけカラーの図を用意する．

5 ファイル容量は合計 10 MB 以下とする．

［11］著作権

本誌に掲載された論文, 抄録, 記事等の著作権は (公社) 日本薬理学会に帰属する. 本会はこれら著作物の全部または一部を，本会のホームページ，本会が認めたネットワーク媒体・その他の媒体において掲載し，出版（電子出版を含む）することができる．

［12］Web 上での公開

J-STAGE では発行から 1 年間は会員のみが閲覧することができる．ただし，新薬紹介総説は発行後即時に全文をフリー公開する．

本会は各記事のリンクを貼ることを許諾しているが，J-STAGE 以外のサイトに pdf や原稿を載せることは認めていない (別途日本薬理学会と契約のある場合を除く)．

［13］投稿先，連絡先

日本薬理学会誌出版部

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る

中西印刷（株）内

TEL: 075-441-3155，FAX: 075-417-2050

E-mail: journal@pharmacol.or.jp